

平成29年度（7月22日）

南風会安全大会



安全大会に先立ちヘルスサポートセンター鹿児島による健康診断を受診し、各人の健康状態をチェックしてもらうとともに、日本赤十字社へ献血で社会貢献し、人命救助の一助を担うことができました。



●定期健康診断の様子



●献血の様子

本社アリーナにおいて、約300人の南風会会員が参加して安全衛生を誓い合う「第28回南風会安全大会」を開催しました。

鎌田安典副会長の開会宣言後、建設業界で尊い犠牲とされた御霊に対して、全員で黙祷をして慰霊しました。冒頭の挨拶では鎌田善政顧問が、指差呼称や整理整頓の重要性を説いた後「今年一年、無事故で乗り切ろう」と挨拶。万善義則会長は「いかなる理由があっても安全衛生活動が低下することは許されない。積極的な防災防止活動を展開し、だれもが安心して働ける職場づくりに努めてほしい。」と呼び掛けました。

安全講話は、建災防鹿児島県支

部事務局長 堤博志様より「現場の安全管理」についてご講話頂き、現場に直結する数々の画像を引用して分かりやすく説明していただきました。特に、現場における安全管理は「より安全な処置をすること心がける。」と言う事が心に残りました。

交通安全講話は、霧島警察署交通課長 平田公一様より「飲酒運転の撲滅」についてご講話頂きました。その中で、飲酒運転による事故の恐ろしさ、悲劇さを伝えるビデオ上映と死亡事故被害者の苦しみに満ちた手記を紹介するとともに、交通事故による責任の重さを訴えられ、参加者も改めて安全運転に徹して事故を起こしてはならない

